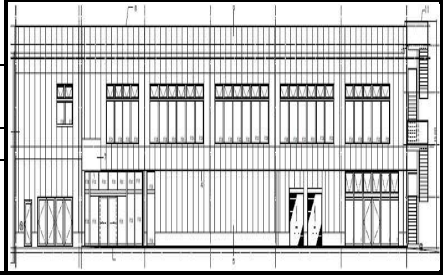


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	関野ビル7	階数	地上2F
建設地	神奈川県秦野市今川町131-4	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	260人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年5月 予定	評価の実施日	2021年7月24日
敷地面積	2,645 m ²	作成者	株式会社 関野建設
建築面積	1,366 m ²	確認日	2021年8月14日
延床面積	2,606 m ²	確認者	関野 義一



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
秦野駅から徒歩で約10分の地域に関野ビル7(物品販売業)を計画した。	特になし。	
Q1 室内環境 JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的)に採用している。	Q2 サービス性能 3.9m以上。 0.1≦[壁長さ比率] < 0.3。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー [BEIm]=0.74、LED照明設備を導入。	LR2 資源・マテリアル 「躯体+軽鉄+仕上げ材」により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能。 ODP=0、GWP=1の発泡剤を用いた断熱材を採用。	LR3 敷地外環境 LCCO ₂ 排出率:78%。 燃焼機器を使用していない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される